

Mission of KMUTT Students Visiting JWRI -Promotion of the Student Interchange-

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅哲男
接合科学研究所 客員教授

2017年6月7日に、モンクット王トンブリ工科大学(King Mongkut's University of Technology Thonburi, 略称: KMUTT)の学生使節団が接合科学研究所に来訪した。使節団の訪問目的は、将来「ものづくり」関連で学生を日本へ派遣するための施設見学である。

KMUTTからは Pornapit 副学長、Patiya 講師、Jaravee スタッフの3名と工学系の学生(大学2年生)13名が参加した。阪大関係者として、関名誉教授、内山スタッフ・細谷スタッフ(阪大、国際部)が同行した。当研究所は、節原副所長、近藤教授、川人准教授、菅客員教授が対応した。

接合研の概要を節原副所長が説明し、溶射、レーザー溶接、X線4次元可視化システムの設備見学を行った。学生からは多くの質問があり、ものづくりに対する関心の高さが認められた。

KMUTT と当研究所とは、2014年6月に国際交流協定を締結し、国際共同研究の実施や KMUTT 学生の受入れ(JST のさくらサイエンスプラン、共同研究コース)などを通して、連携を強化している。

今回の KMUTT 学生施設団の訪問を契機として、「学生交流」が推進されると共に、両大学間の連携が更に深まることを期待したい。

